

# はまぼうふう

石狩海浜植物保護センター通信 はまぼうふう  
編集・発行 石狩市環境市民部石狩海浜植物保護センター

## 2025年 保護センターの振り返り

保護センターの2025年は、新たに樹脂標本を展示室に導入したり、海浜植物のタネ標本づくりなど、来館した皆さんが少しでも楽しい!!面白かった!!と思える施設づくりを目指して、工夫してきました。今年度は外への出張もたくさんあり、石狩市内外問わず、多くの方に海浜植物を目にするきっかけを作れた一年でした。今後も、石狩浜がより身近に感じられるような体験を通して、石狩浜の魅力をもPRできるようにさらに挑戦していきます。



### 石狩海浜植物保護センター紹介

4/29から開館予定です。是非お立ち寄りください!



### 海浜植物観察園Map



赤い点線ルートを歩くと…  
海側から陸側へ海浜植生が  
移り変わるようすを観察できます



### 館内を見たら観察園へGo!

左折はショートコース  
直進はじっくりコース

近くでじっくり観察  
花の写真も間近で📷

### いしかり生き物かけはし座談会開催

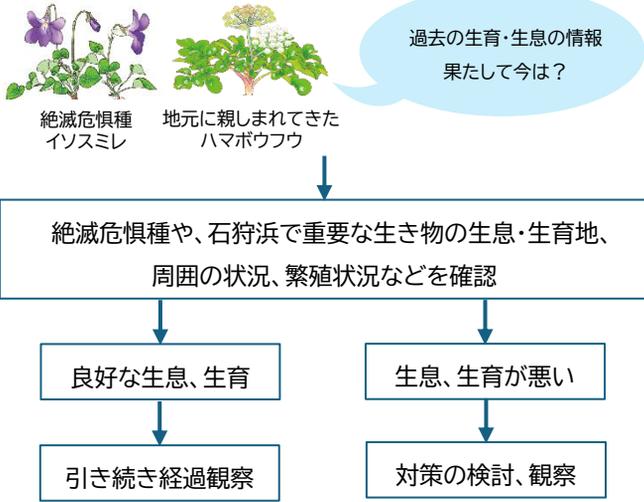
自然保護課では毎年、石狩市の自然環境に関するフォーラムを開催しています。今年のテーマは『エゾシカ』でした。全道的に増加していると話題になっているエゾシカですが、石狩市内でも交通事故や農業被害が起きています。実際に野外に自動撮影カメラを付けると、場所によってはエゾシカが移りこんでいます。浜益では木の皮を食べて、木が枯れてしまい、土砂崩れの影響も考えられます。

石狩浜でも海岸を彩る植物が食べられた痕が見つかっています。海浜植生への影響については、他の地域では減少したという報告もあるので、今後も引き続き調査を進めていきます。



## 海浜植物の現状把握

過去と何が違うのかを知るために、どんな生き物がどの場所に、どのくらい生息、生育しているか調べています。調査結果を過去の情報と比較し、必要な対策を考えていきます。



## 海浜生態系維持のための防除活動

石狩浜では昔は見るのが少なかった・いなかった動植物が増加しています。例えば外来種のアズマヒキガエルやトノサマガエルはここ数十年で石狩浜に定着しました。内陸性植物のチガヤやススキ、アキグミは過去よりも生育範囲が拡大し、海浜植物の生育に影響を及ぼしています。また、近年道内で増加しているエゾシカは、他地域で海浜植物の食害が問題となっており、石狩浜も今後起こりうる可能性があります。そのため、これらの動植物のモニタリングや、調査結果をもとにした防除に取り組むことで海浜生態系の維持を目指しています。



アズマヒキガエルと調査地



チガヤと刈り取りの様子

## 保護センター無料体験プログラム

いつでも体験

### 漂着物(ひょうちゃくぶつ)のクラフト体験

石狩浜で見られる漂着物、海浜植物のタネなどを使って世界にひとつのクラフトを作ろう

いつでも体験

### 海浜植物のタネ標本づくり

海浜植物のタネで標本を作ってみよう。作れる標本は毎月替わります。全部集めると、海浜植物標本セットが出来上がります。

5月	ハマボウフウ
6月	ハマナス
7月	ハマエンドウ
8月	ハマヒルガオ
9月	コウボウシバ
10月	コウボウムギ

※イメージ

いつでも体験

### 海浜植物(かいひんしょくぶつ)のほりほり体験

ふたんは砂の中にある根っこ。海浜植物の根っこにはびっくりが...!! みんなでほりだして観察してみよう

保護センターでは、海浜植物のタネや漂着物を使ったクラフト体験が無料でできます。保護センターの情報と共に思い出作りにいかがでしょうか(^^)/

石狩浜海浜植物保護センター通信 はまぼうふうVol82 2026(令和8)年3月発行

編集・発行 石狩市環境市民部 石狩浜海浜植物保護センター

連絡先

☎:0133-60-6107 FAX:0133-60-6146

✉:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

所在地 〒061-3372 石狩市弁天町48番1

開館日 4/29~11/3 10:00~16:00 休館日 火曜休館・祝日の場合は翌平日

ホームページ <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/>

SNS始めました！  
石狩市の生物多様性や保全の取り組みを発信します。  
ぜひフォローお願いします！